

林兼産業株式会社

2019年3月期第2四半期 決算説明資料

2018年11月14日

連結損益計算書の概要

(単位:百万円)

	2018年3月期 第2四半期累計	2019年3月期 第2四半期累計	
		実績	前年増減
売上高	21,448	21,782	333
営業利益	544	481	▲62
経常利益	626	545	▲81
親会社株主に帰属 する四半期純利益	396	402	6

前期との主な変動要因

売上高	養魚用飼料や機能性食品の売上が増加したことなどにより増収
営業利益	すり身や魚粉などの原材料価格が高値で推移したことにより減益
経常利益	営業利益の減少や為替差損益の影響などにより減益
親会社株主に帰属 する四半期純利益	税金費用の減少により増益

セグメント別の売上高・営業利益

(単位:百万円)

	2018年3月期 第2四半期累計	2019年3月期 第2四半期累計	
		実績	前年増減
売上高	21,448	21,782	333
水産食品事業	2,311	2,358	46
畜産食品事業	9,760	9,766	5
飼料事業	8,404	8,537	133
その他の事業	972	1,120	147
営業利益	544	481	▲62
水産食品事業	184	147	▲36
畜産食品事業	124	209	84
飼料事業	701	576	▲124
その他の事業	66	89	22
消去又は全社	▲532	▲540	▲7

連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)

	2018年3月期末	2019年3月期 第2四半期末	
			増減
流動資産	13,154	15,055	1,900
固定資産	16,091	17,570	1,478
資産合計	29,246	32,625	3,379
流動負債	14,614	16,749	2,135
固定負債	6,913	7,348	434
負債合計	21,527	24,097	2,570
純資産合計	7,718	8,527	809
負債純資産合計	29,246	32,625	3,379

連結キャッシュ・フロー計算書の概要

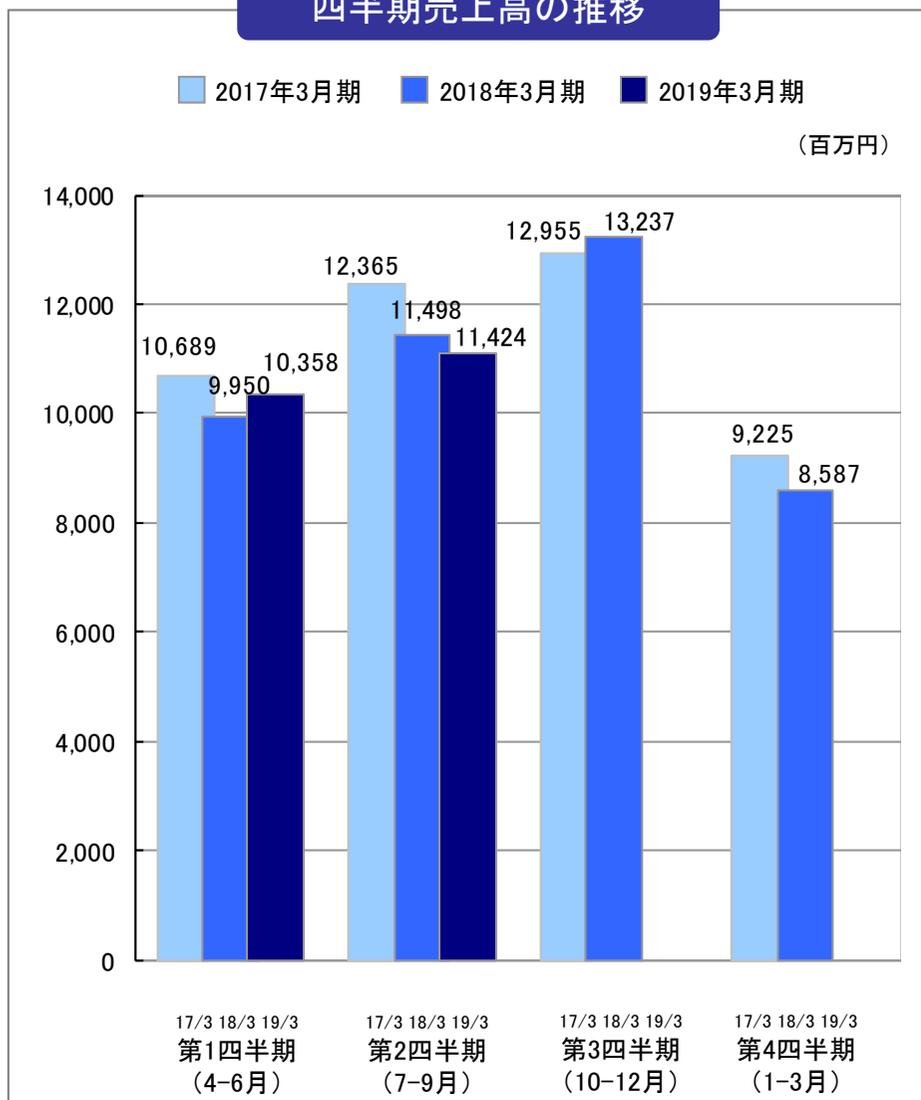


(単位:百万円)

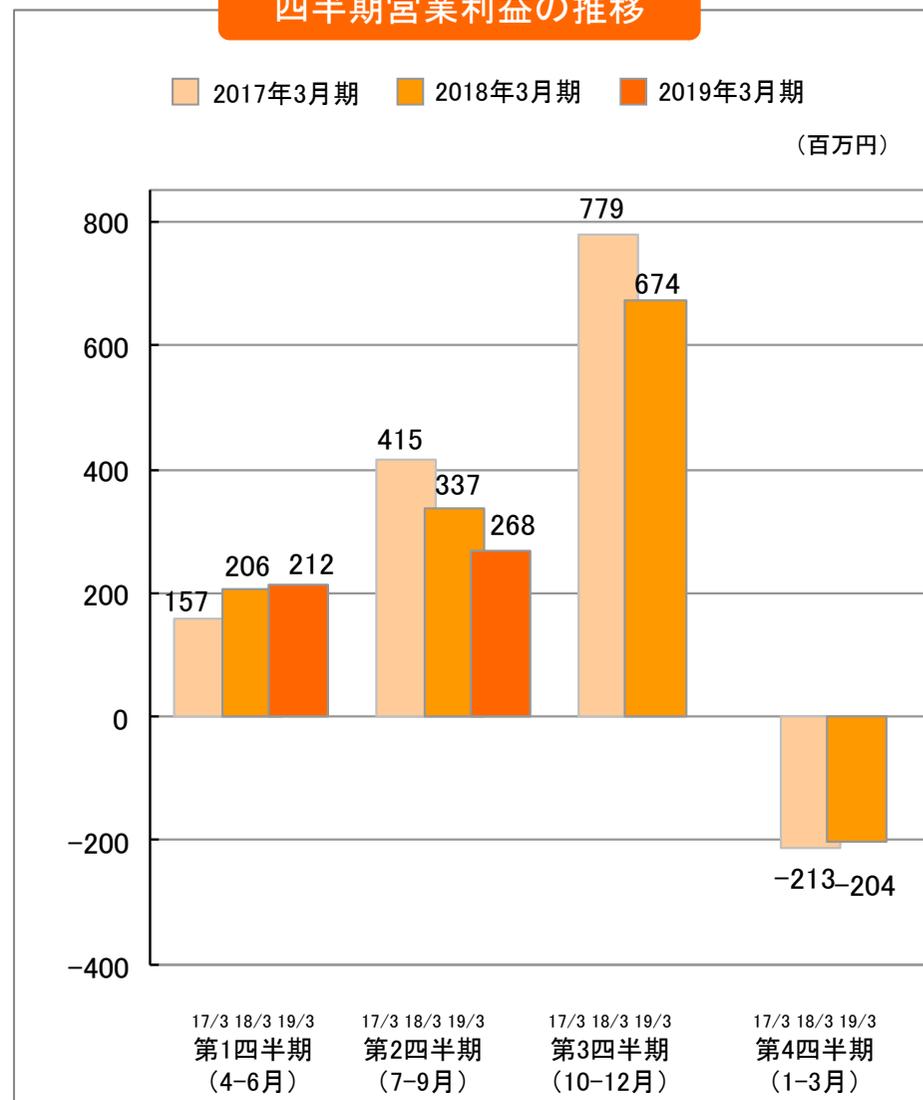
	2018年3月期 第2四半期累計	2019年3月期 第2四半期累計	
			前年増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲658	▲1,668	▲1,009
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲236	▲517	▲281
フリー・キャッシュ・フロー	▲894	▲2,185	▲1,291
財務活動によるキャッシュ・フロー	492	946	453
現金及び現金同等物の増減額	▲404	▲1,237	▲833
現金及び現金同等物の期首残高	2,090	2,765	675
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,686	1,528	▲158

四半期業績の推移（売上高・営業利益）

四半期売上高の推移



四半期営業利益の推移

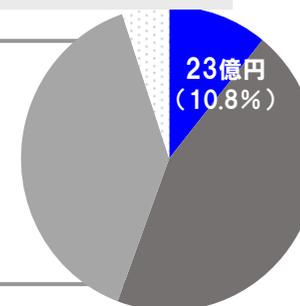


概況：機能性食品の売上増加により増収

水産食品事業

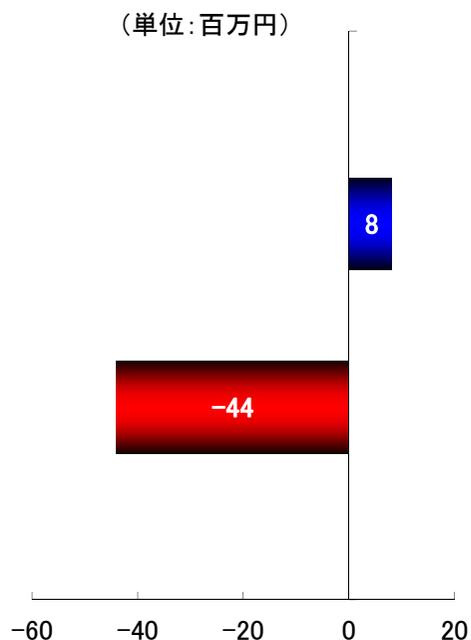
売上高 23億58百万円（前期比 2.0%増）

営業利益 1億47百万円（前期比 20.0%減）



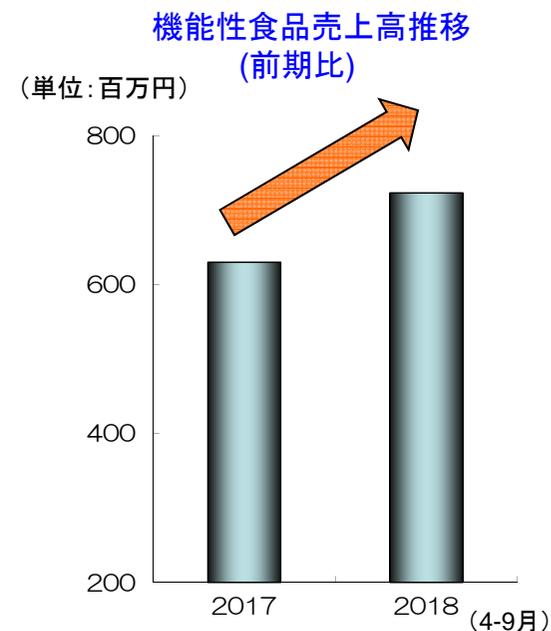
営業利益の増減要因

営業利益の減少 ▲36百万円



機能性食品の販売拡大
(エラスチン・ソフミート・和菓子)

国内向け魚肉ねり製品の販売数量減少
すり身など原材料価格の高値推移

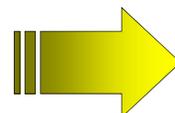


水産食品事業

施策

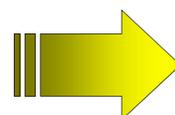
状況

魚肉ねり製品の収益改善



- ・ 中国、香港向け輸出数量増加
- ・ 主原料価格の高値推移により減益
- ・ 販売価格改定への取り組み

機能性食品の事業基盤拡充



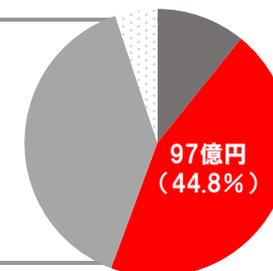
- ・ エラスチン：国内向け販売数量増加（前期比 32.0%増）
生産ラインの能力増強
- ・ ソフミート：ウナギ蒲焼風など新製品を発売
大手給食会社向け販売数量増加
（前期比 12.2%増）
- ・ 和菓子：行事用和菓子など販売数量増加

セグメントの状況（畜産食品事業）

概況：牛肉の販売数量増加などにより増収

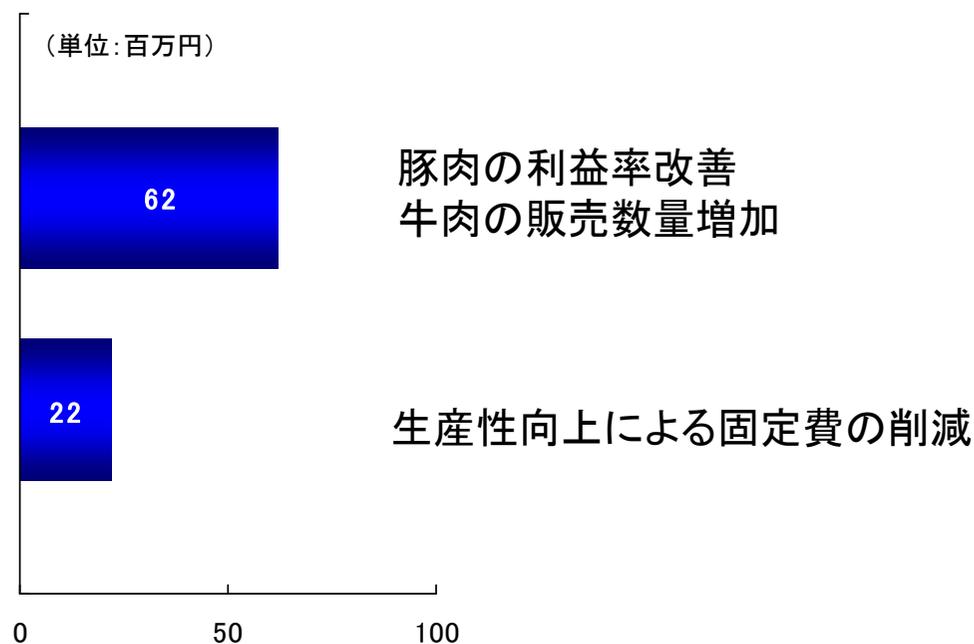
畜産食品事業

売上高 97億66百万円（前期比 0.1%増）
営業利益 2億 9百万円（前期比 67.7%増）



営業利益の増減要因

営業利益の増加 84百万円

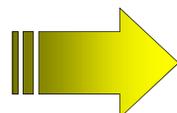


畜産食品事業

施策

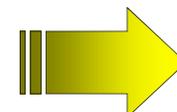
状況

加工食品販売および食肉販売
の強化拡大



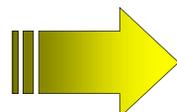
・牛肉の販売数量増加（前期比11.7%増）

下関第二工場および都城工場
の最適生産体制の構築



・特定加熱食肉製品(ローストビーフ)の製造ライン構築

スターゼングループとの
連携強化



・協働販売の強化などにより取引数量増加

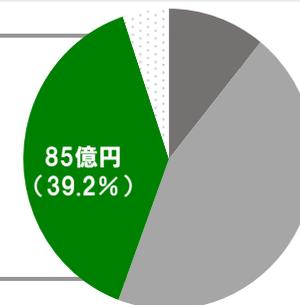
セグメントの状況（飼料事業）

概況：養魚用飼料の販売数量増加や価格改定により増収

飼料事業

売上高 85億37百万円（前期比 1.6%増）

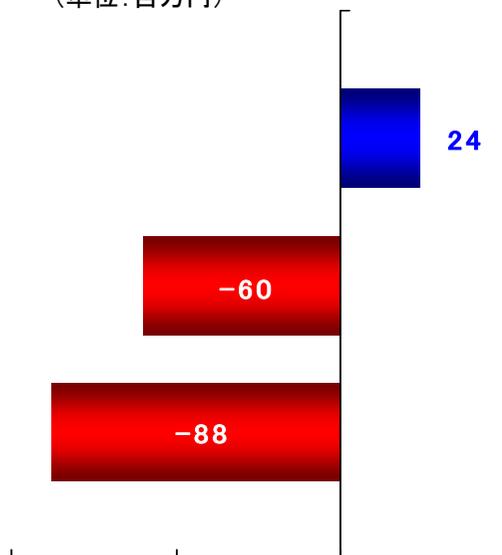
営業利益 5億76百万円（前期比 17.8%減）



営業利益の増減要因

営業利益の減少 ▲1億24百万円

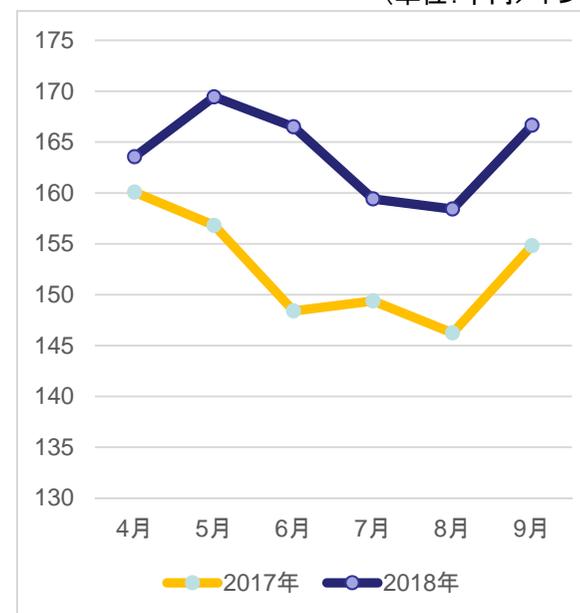
(単位:百万円)



- 桜林養鰻の育成改善による生産効率向上
水産物の相場好転
- 原材料価格の高値推移
畜産用飼料の販売数量の減少
- 販売費や人件費などの増加

魚粉輸入価格(CIF)

(単位:千円/トン)

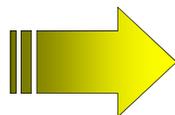


飼料事業

施策

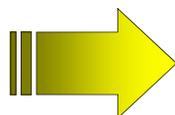
状況

養魚用飼料の販売強化



- ・ 既存取引先への取り組み強化により販売数量増加
- ・ 養殖ぶり寄生虫の予防法開発
- ・ 原料調達範囲の拡大(取引先の開拓強化)

水産物の収支改善



- ・ 桜林養鰻の育成改善による生産効率向上
- ・ 水産物の相場好転などにより収支改善

連結損益計算書



(単位:百万円)

	2018年3月期 第2四半期累計		2019年3月期 第2四半期累計		前年増減		主な要因
	実績	売上高比	実績	売上高比	実績	売上高比	
売上高	21,448	100.0%	21,782	100.0%	333		
売上原価	17,931	83.6%	18,218	83.6%	286		
販売費及び一般管理費	2,973	13.9%	3,082	14.1%	108	0.2%	
営業利益	544	2.5%	481	2.2%	▲62	▲0.3%	
受取配当金	56		52		▲4		
その他	142		100		▲41		
営業外収益合計	199		152		▲46		(百万円) 営業外収益 ▲46
支払利息	103		80		▲22		営業外費用 ▲27
その他	13		8		▲5		営業外損益悪化 ▲18
営業外費用合計	116		89		▲27		
経常利益	626	2.9%	545	2.5%	▲81	▲0.4%	
特別利益合計	0		0		▲0		
特別損失合計	18		9		▲8		
税金等調整前四半期純利益	608		536		▲72		
法人税等合計	200		109		▲90		
非支配株主に帰属する四半期純利益	11		23		11		
親会社株主に帰属する四半期純利益	396	1.8%	402	1.8%	6		

(単位:百万円)

	2018年3月期 実績	2019年3月期			
		第2四半期累計実績	前年増減	通期計画	前年増減
売上高	43,274	21,782	333	46,300	3,025
営業利益	1,014	481	▲62	660	▲354
経常利益	1,150	545	▲81	830	▲320
親会社株主に帰属する 当期純利益	817	402	6	560	▲257

2019年3月期 通期の見通し

第2四半期連結累計期間の業績は概ね予想どおり推移しており、平成30年5月15日に発表した通期の業績予想に修正はありません。今後経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

 林兼産業株式会社

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることを御承知おき下さい。

IRお問い合わせ先

林兼産業株式会社 管理本部総務部

TEL 083-266-0210

IRサイト <http://www.hayashikane.co.jp/ir/index.html>